

須知高校生みなさんへ

令和2年度 第2学期終業式 式辞

4ヶ月間という長かった2学期がようやく終了し、明日から冬休みが始まります。2学期は文化祭や須高感謝祭など実施できなかった行事もありましたが、生徒・保護者のみなさんの協力により、無事、多くの行事を実施することができました。みなさんの協力に感謝しています。

さて、2020年1月に日本で最初に新型コロナウイルスの感染が確認されてから約1年が経とうとしています。このウイルスは1年間で急速に感染が拡大し、今もなお、感染拡大が続いています。1学期の終業式では、ビル・ゲイツ氏が「ウイルスの大流行」の警告をされた「想定力」の話をしましたが、今後は、このウイルスと共生していかなければなりません。医師として、感染症が流行する世界各地の最前線で活動されてきた長崎大学の山本太郎教授は、ウイルスとの共生について次のように話されていたのでみなさんに紹介します。

「我々はウイルスの被害を最小化したいんですけども、ウイルスを我々の社会の中に取り込んで社会全体が免疫を持つことによって、社会自体が強固になっていく。そんな視点が必要なのかなと思います。目指すべきはウイルスに打ち勝つことではなくて、被害を最小化しつつ、ウイルスと早く共生関係に入っていくということではないかなと思います。社会機能を破綻させなければ、我々はうまくつきあっていける可能性があるわけです。そのために、いまある知識あるいは技術を使っていくことが大切だろうと思っています。社会がどうあるか、どう変わっていくか、どういう希望のもとにあるべきかっていうのは、1人1人の心の中にあるような気が個人的にはします。そういう意味では、今、大変な状況なんだけれども、その次の社会をどういうふうな社会にしていけばいいかっていうことを考えることによって、それが未来への希望につながると思います。」

短い冬休みですが、今年の1年間を振り返り、来年の抱負や将来についても、ゆっくり家庭で話し合い、良い年末年始を過ごして欲しいと思います。

元気な姿で3学期に再会できることを楽しみにしています。

令和2年12月25日

須知高校 校長 湯川 佳秀